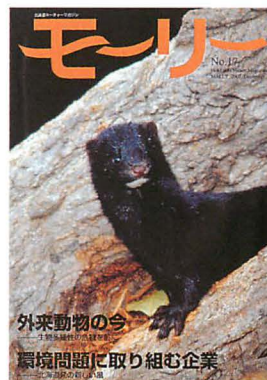


財団法人北海道新聞野生生物基金 編

北海道ネーチャーマガジン モーリー 17号

山田家正先生（小樽商科大学名誉教授）が山田幸男先生の伝記を纏められた。山田家正先生は山田幸男先生の直門であり、このたび執筆された「ヴィジュアル【生物学者小伝】⑫ 海藻研究ひとすじ山田幸男先生」は詳細だけでなく温かみのある、山田幸男先生の人物研究にもなっている。自伝に次ぐ山田幸男先生の決定版と言ってよいかも。この重要な記事が掲載されているのが、年2回発行の雑誌「北海道ネーチャーマガジン モーリー」の17号である（山田先生の記事は pp. 56-65）。

「モーリー」は、1992年に北海道新聞社創立50周年を記念して設立された財団法人北海道新聞野生生物基金が編集・発行する、北海道の自然と生物保護活動に関する話題を満載した雑誌である。誌名「モーリー」には「自然の森を守る」に加え、「北海道の大自然と力強く共存し、モリモリ力がわき出る」などの意味が込められているようで、その名に違わず盛り沢山の企画が並んでいる。そのひとつが「ヴィジュアル【生物学者小伝】



財団法人北海道新聞野生生物基金、B5判、116頁、2007年12月15日、定価700円（税込）、ISBN 978-4-89453-436-0

シリーズなのであるが、6号には宮部金吾先生が取り上げられているので、17号とあわせてのご購読をお薦めする。バックナンバーの購入については同基金のウェブサイト <http://www.aurora-net.or.jp/nature/yasei/> をご覧いただきたい。（編）

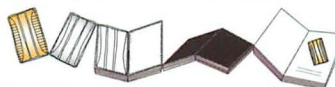
ご出版の予定をお持ちの会員へ 2007-2008年に出版された御著書の情報をお寄せください。

必要事項：①書名、②著者名、③出版社、④サイズ、⑤総頁数、⑥出版年月日、⑦定価（税込）、⑧ISBN

情報提供先：〒305-0005 つくば市天久保4-1-1 国立科学博物館

植物研究部 北山太樹「藻類書評・新刊紹介」係

Fax: 029-853-8401, E-mail: kitayama@kahaku.go.jp



藻の見遊山

クンショウモ・デザイン展 —微小藻が誘う美の世界—

2008年5月3日（土）～2008年5月11日（日）

古より日本人はさまざまな自然物を花鳥風月と称し、デザインに生かして生活を豊かにしてきました。この展示では公園の池や田んぼの水の中に潜む微小な生物“花鳥の世界”を、クンショウモの美しい形で代表して紹介します。顕微鏡下に展開する非日常的花鳥の世界を楽しんで頂ければ幸いです。

（渡邊眞之）

時間：10時～17時（最終日は13時まで）

場所：つくば市民ギャラリー（入場無料）

つくば市吾妻2-7-5、中央公園レストハウス内

企画・製作：国立科学博物館名誉館員 渡邊眞之（☎029-851-5159 ex 8150）

製作協力：大坂亜紀子

＊展示会は引き続き下記の会場でも開催されます：

国立科学博物館（上野公園、5月13日～6月1日）

国立科学博物館筑波実験植物園（つくば市天久保、6月14日～6月29日）

茨城県霞ヶ浦環境科学センター（土浦市沖宿町、8月13日～8月31日）



クンショウモ・デザイン展
— 微小藻が誘う美の世界 —

